



ゆめちから栽培研究 プログラム 最終報告

2018年11月18日(日)
静岡県立富岳館高等学校
農業クラブ

目 的

- 収量を増やすために分けつを増やす。



- 過去の結果を参考に総窒素量を60gにして、地域の気候を考えて追肥を行い回数を分ける。



- 分けつ数・EC値を必ず調べ、変化を観察する。

施肥計画

表 プランター当たりの硫安量

	基肥 (g)	基肥 1か月後 (g)	起生期 (g)	止葉期 (g)	合計 (g)
基準区	10	—	18	12	40
研究区	10	5	25 (5 × 5)	20 (4 × 5)	60

生育

?

様子

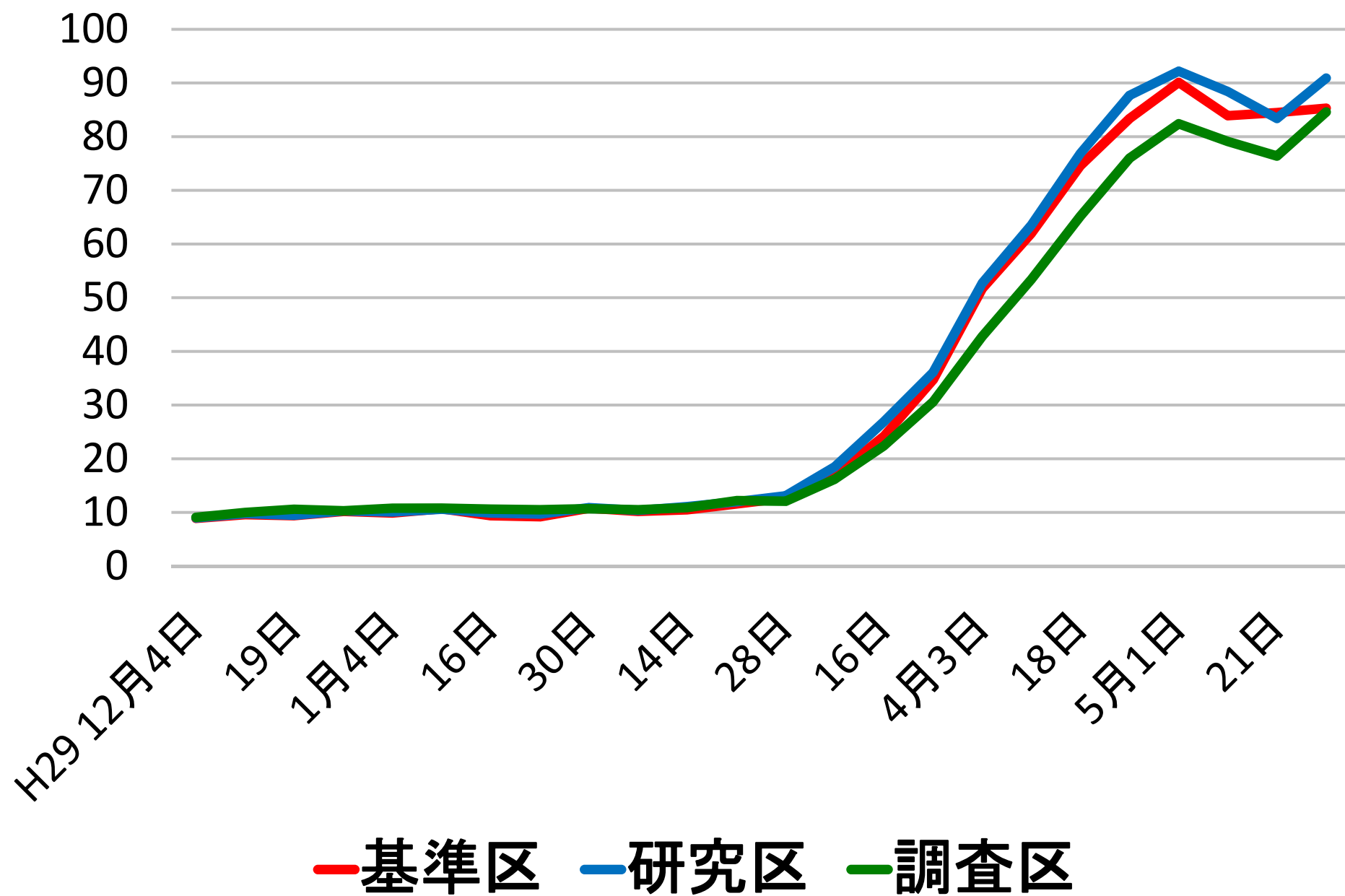


生育

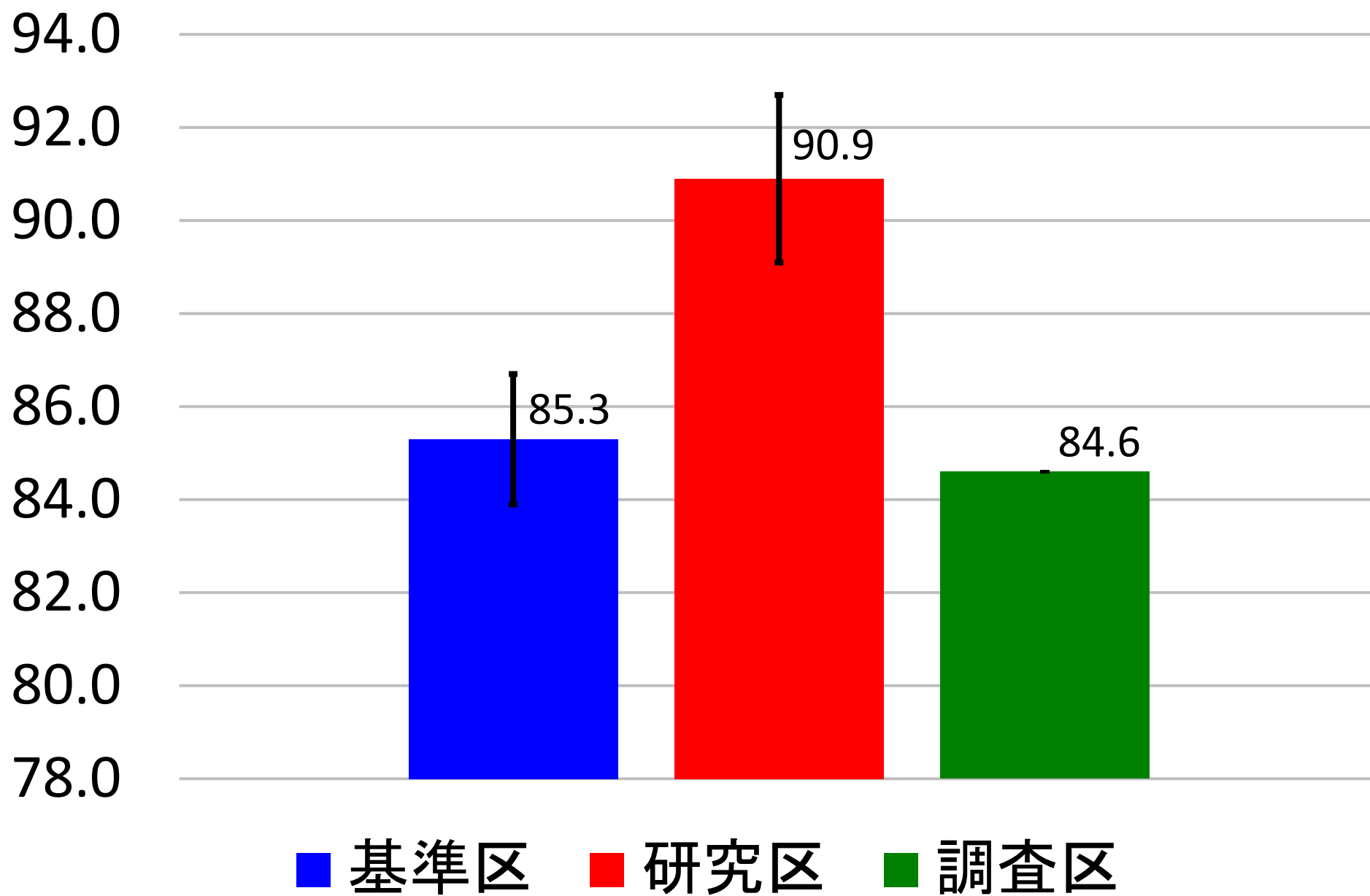
?

結果

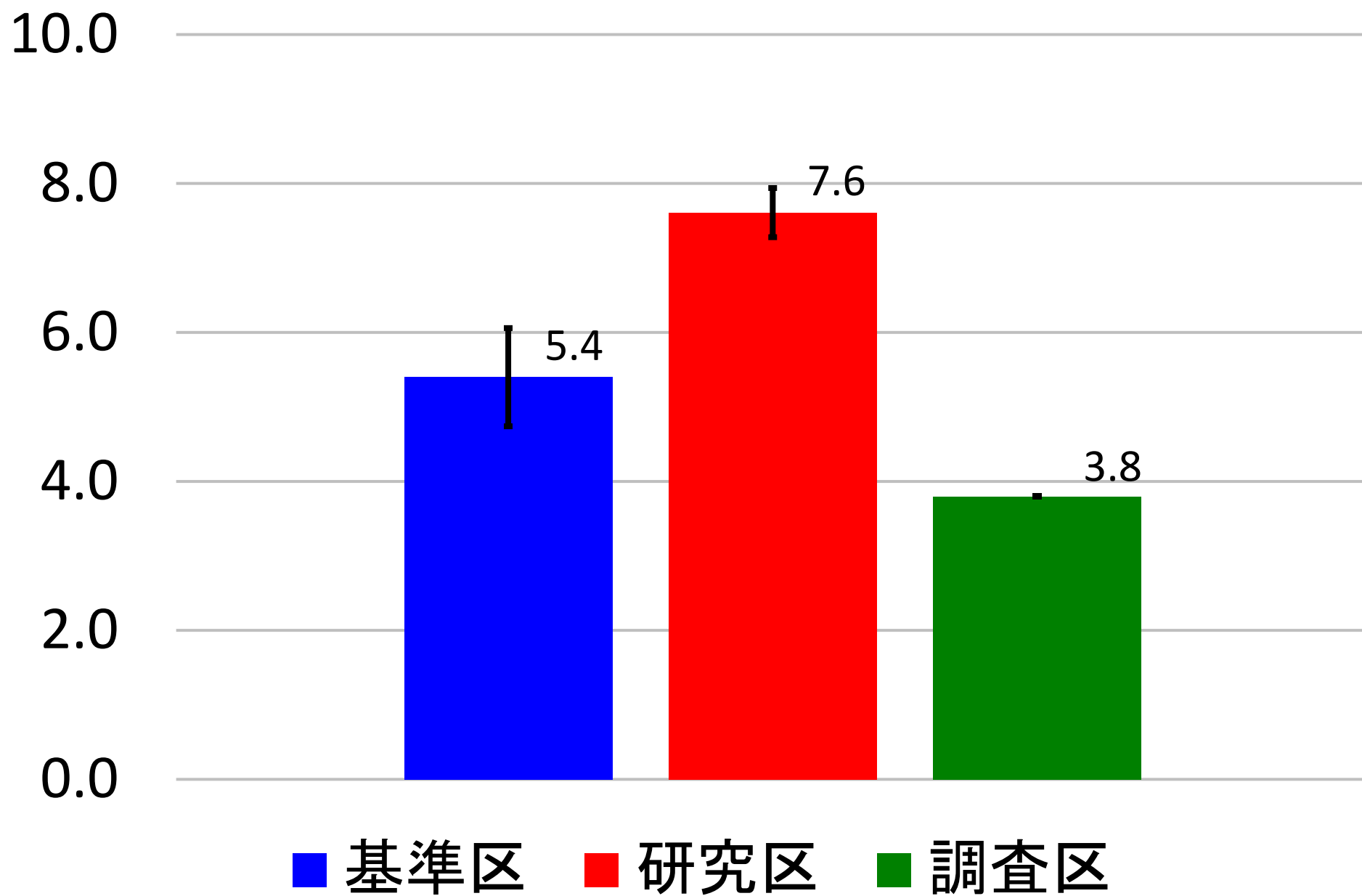
草丈 (cm)



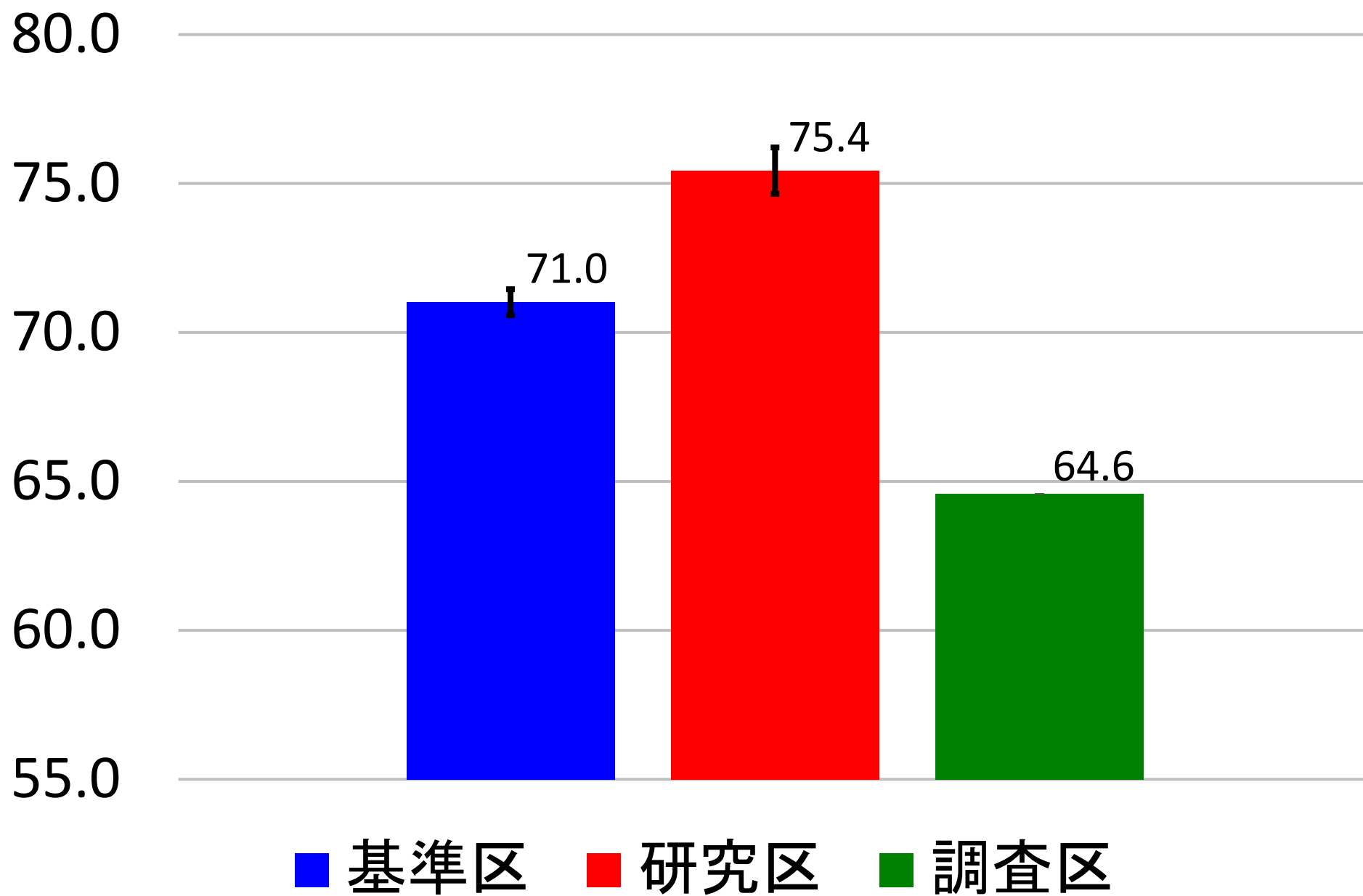
草丈 (cm)



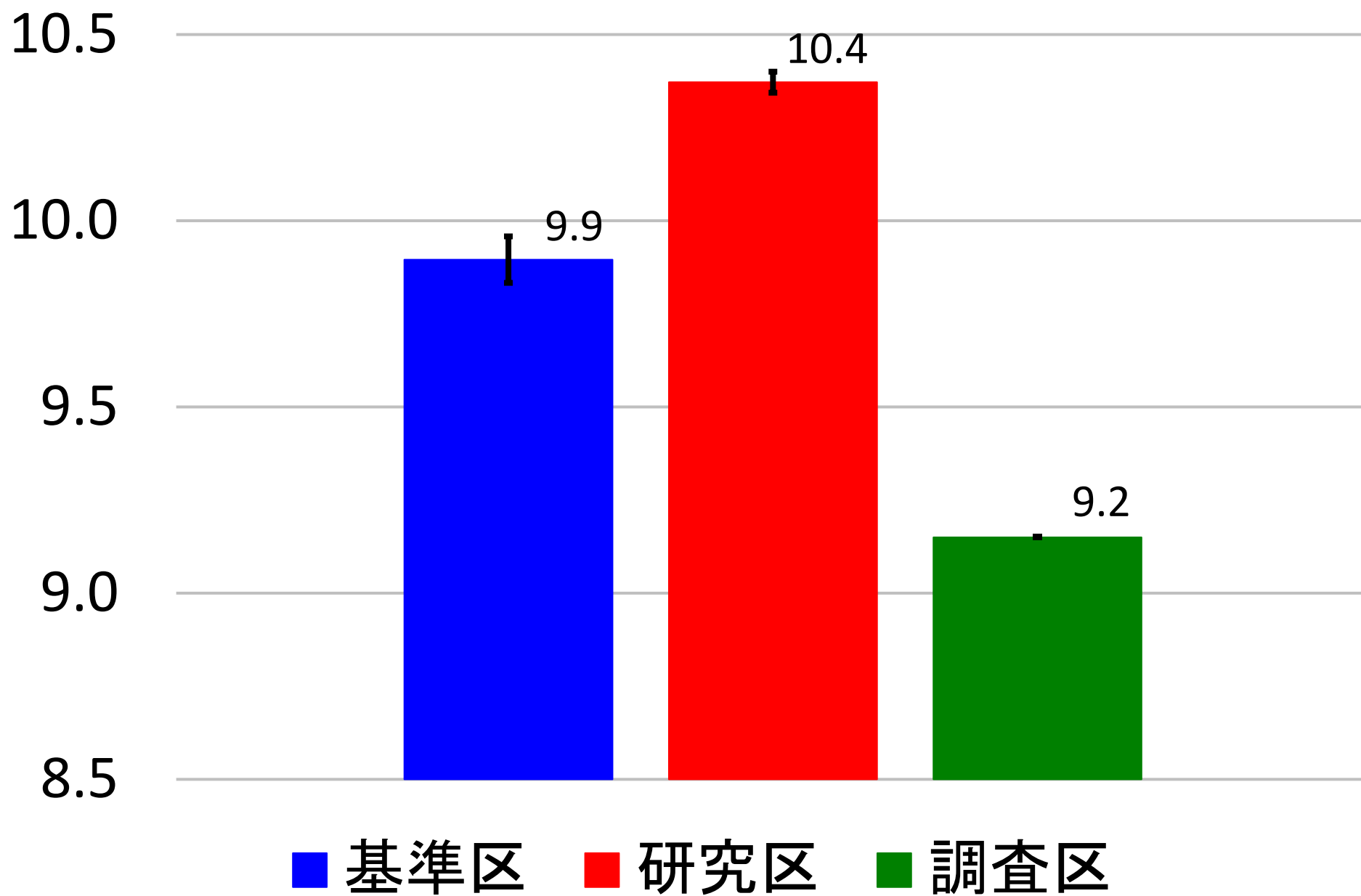
茎数(本)



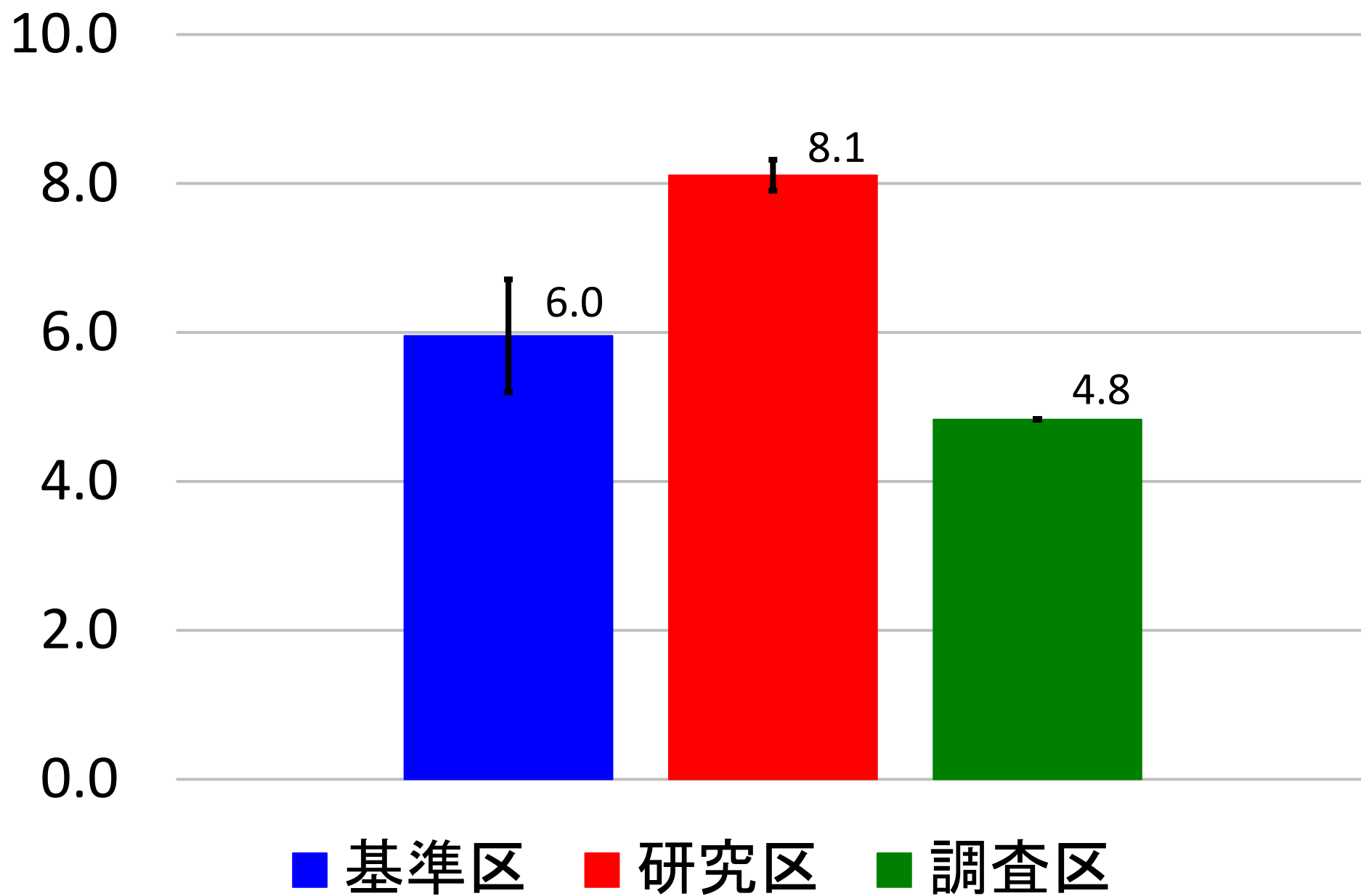
稈長 (cm)



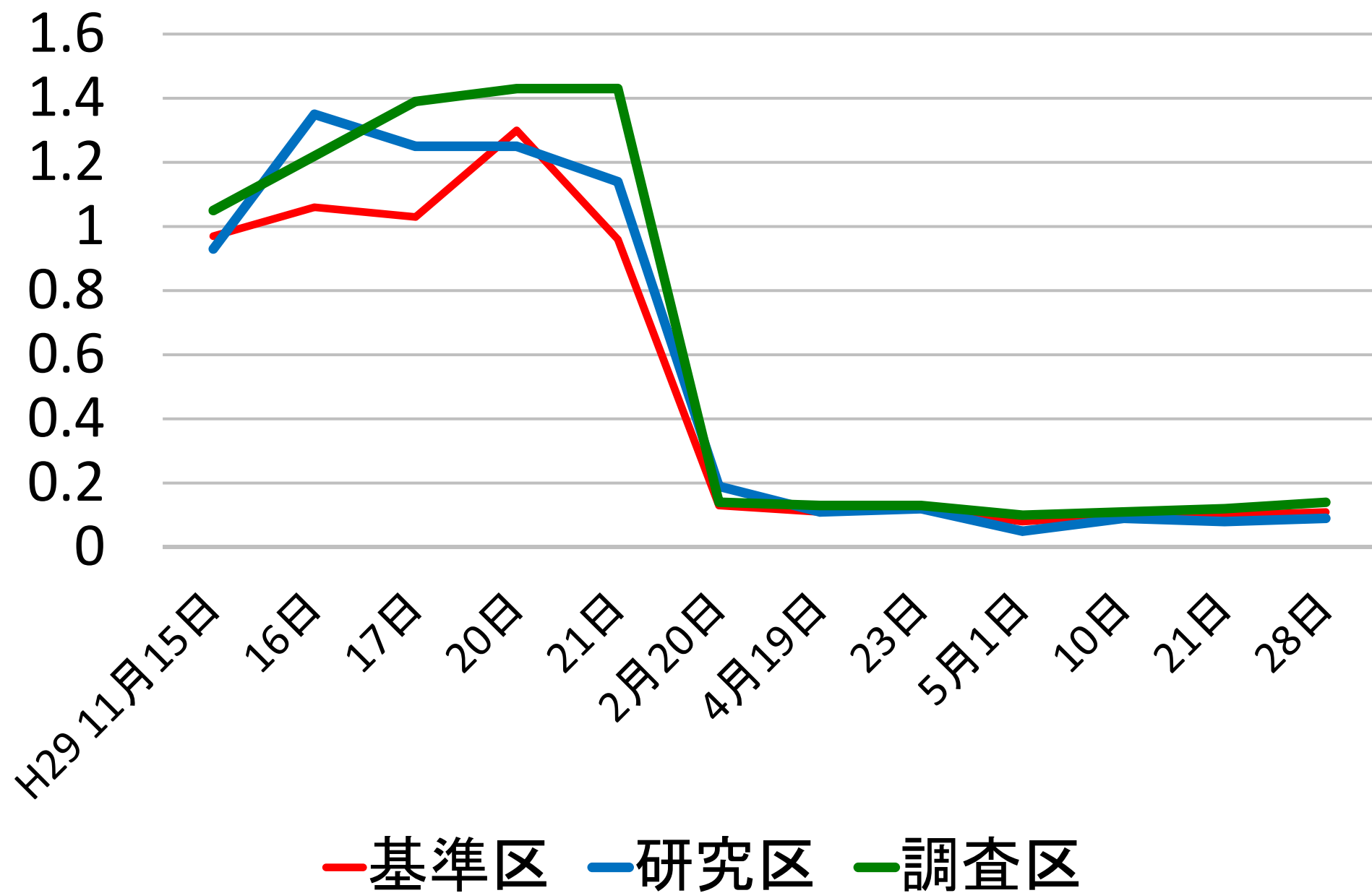
穂長 (cm)



穂数(本)



EC値 (mS/cm)



收量

?

結果



千粒重測定



ゆめちから収穫



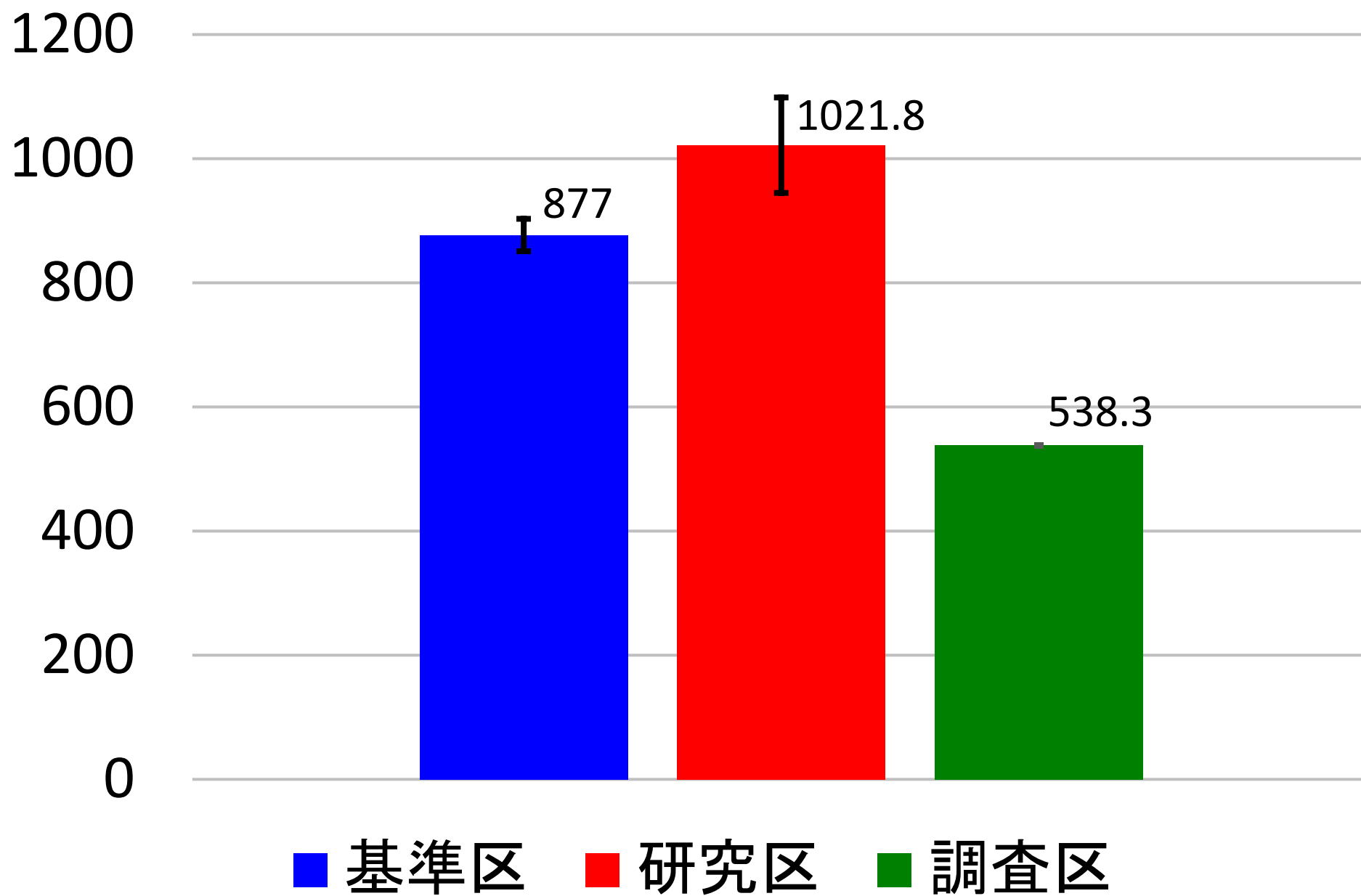
脱穀



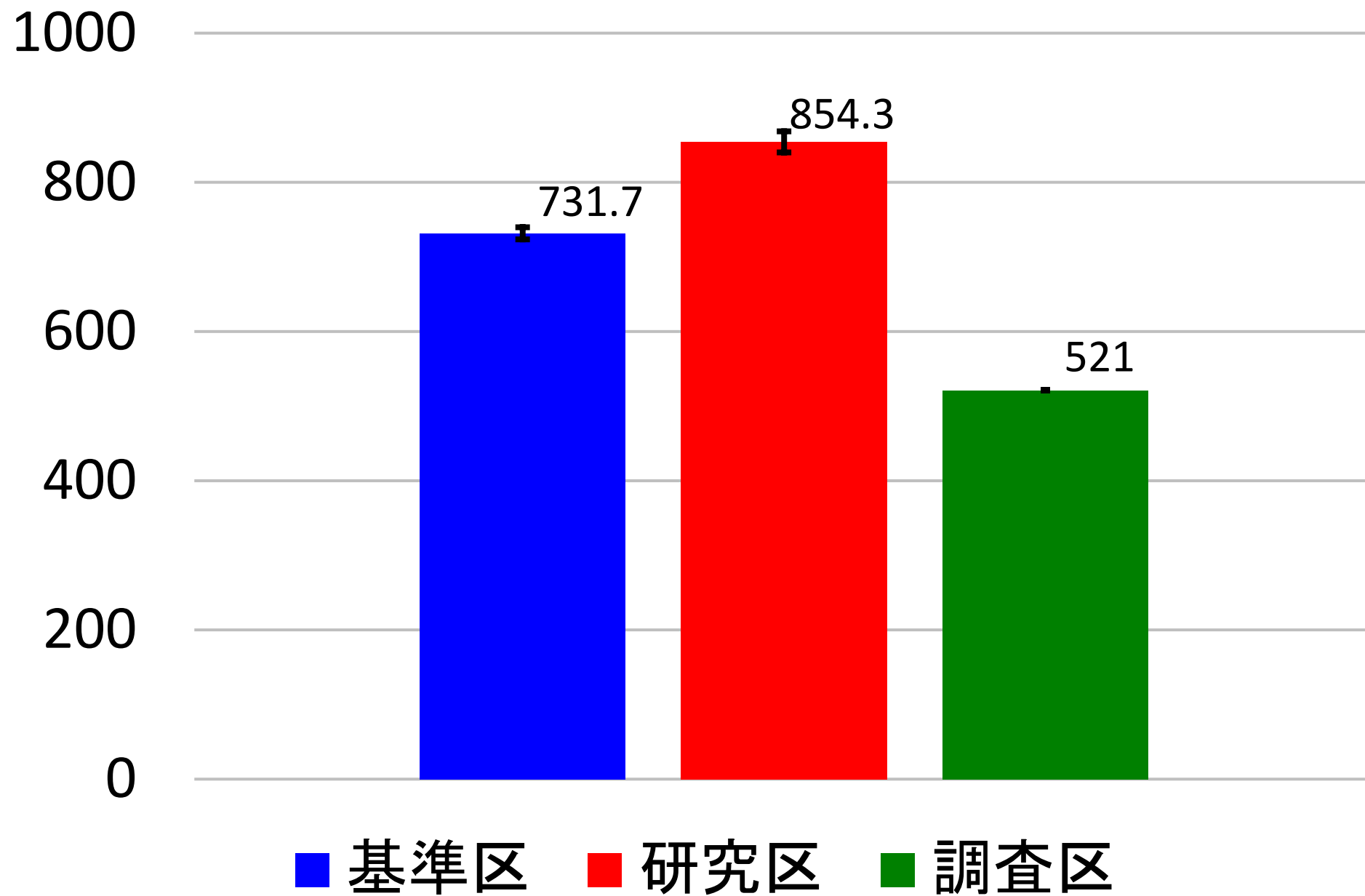
収穫方法

処理区	基準区	研究区	調査区
収量 (g/m ²)	877.0	1,021.8	538.3
穂数 (本/m ²)	731.7	854.3	521.0
1穂粒数 (粒/本)	26.7	25.0	23.5

収量 (g/m²)

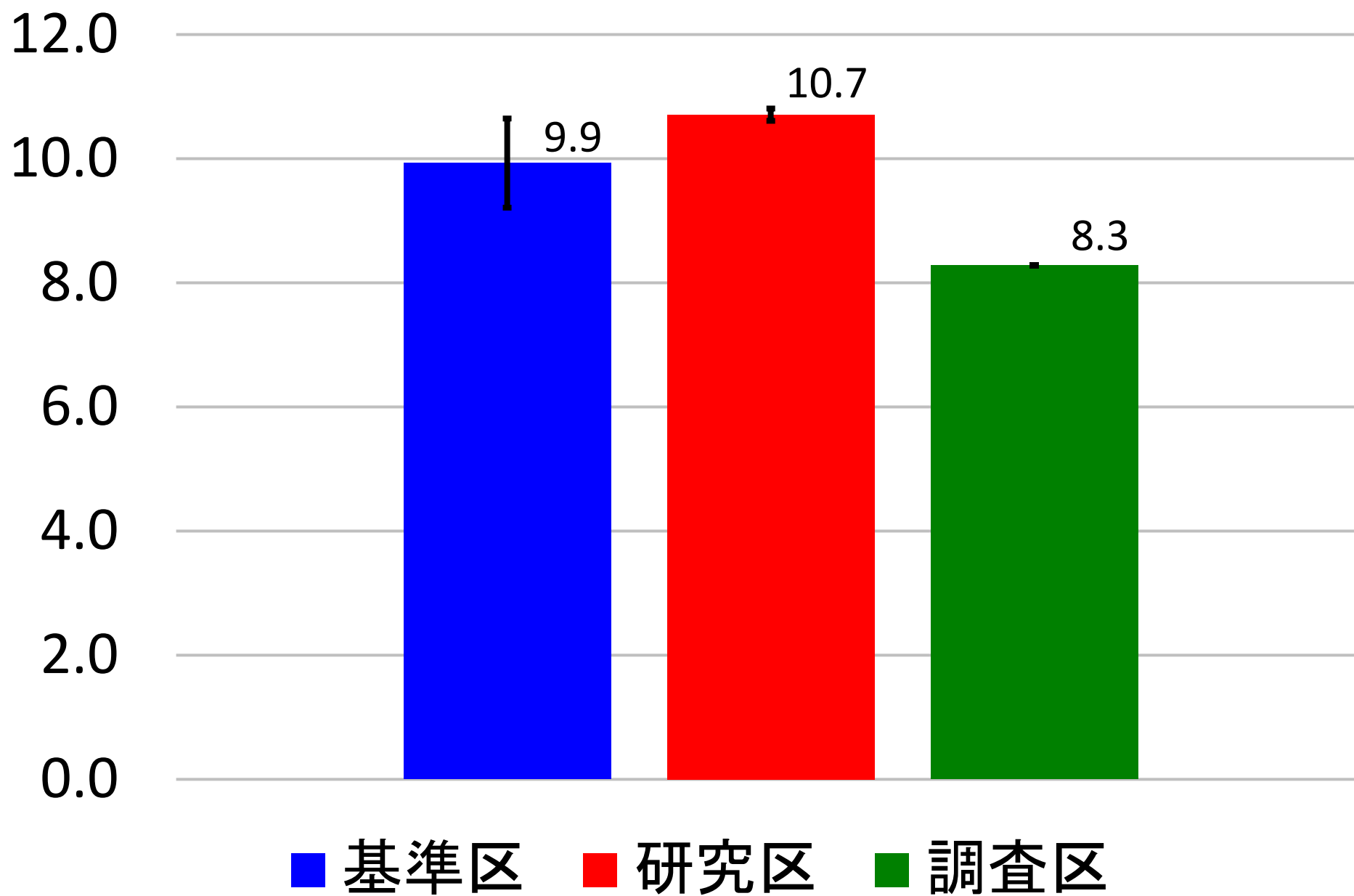


穂数(本/m²)



処理区	基準区	研究区	調査区
有効茎歩合 (%)	97.2	96.7	92.5
タンパク含量 (%)	9.93	10.71	8.28
千粒重 (g)	45.0	47.8	44.0

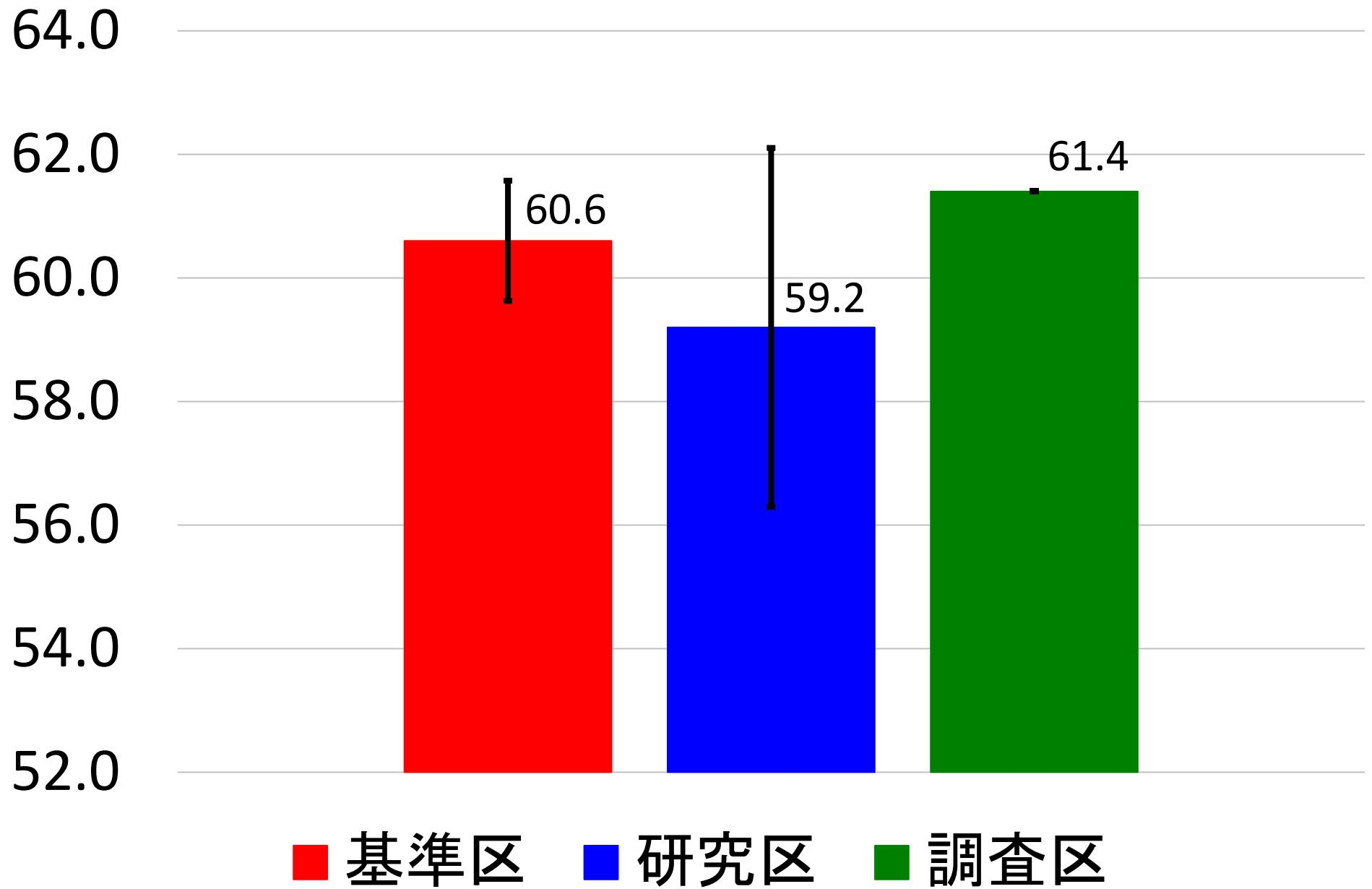
タンパク含量(%)



処理区	基準区	研究区	調査区
粉重量 (g)	208.98	239.18	125.25
ふすま重量 (g)	135.87	166.48	78.84
製粉歩留 (%)	60.6	59.2	61.4



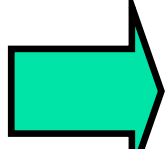
製粉歩留(%)



研究の成果

1 分けつ数のデータより、
研究区→分けつ数増加に成功

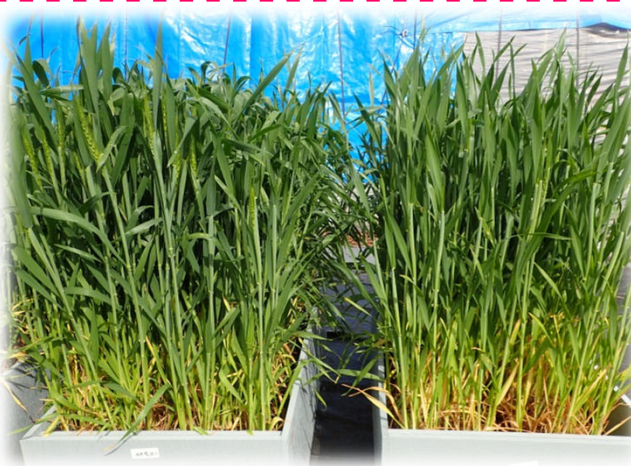
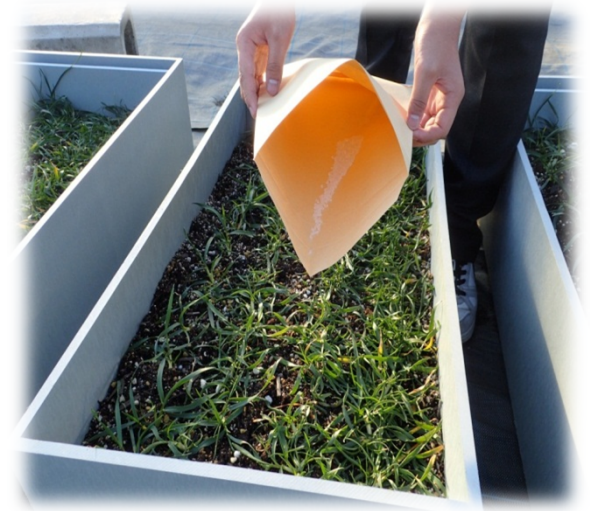
2 施肥量を分割して与える



研究区 収量UP！

3 タンパク含量は低かった(栽培目標 14%)

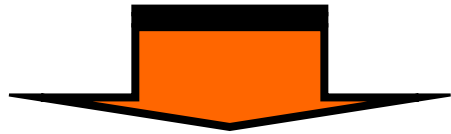
基準区 9.93% 研究区 10.71% 調査区 8.28%



考察

1 施肥：肥料を与える時期・量が収量に影響

2 施肥の工夫：各期に肥料を与える時期を分割



高い成長効果

基準区 $877.0\text{g}/\text{m}^2$

研究区 $1021.8\text{g}/\text{m}^2$

3 タンパク質含量：ノシメマダラメイガによる影響



穀物や小麦粉、乾燥食品を加害する

発生理由：収穫時 小麦に付着していた可能性

今後の課題

- 1 止葉期：訪れた時期を早く確認
- 2 生育環境対策：害虫・鳥獣害の対策・駆除



- ・生物的防除(テントウムシ)
- ・鳥を寄せ付けない防鳥ネット
- ・フェロモントラップで早期発見

- 3 タンパク含量維持：ノシメマダラメイガの駆除
(くん煙殺虫剤の活用)



より栄養価が高い小麦を！

謝 辞

本活動において、ご覧の方々に
協力いただいた。お礼申し上げます。

株式会社 リバネス 様

敷島製パン株式会社 様